

居場所型学習支援事業・業務委託者優先交渉権者選定評価表

評価項目及び評価内容	
1 基本理念	・福祉行政や子どもの貧困に対する十分な理解があり、事業参入に対する熱意・意欲が感じられるか。
2 実績	・類似の実績等を踏まえて、本委託業務の遂行能力を有しているか。
3 実施体制	①資格や実践経験のある専門性を有した人材は確保されているか。
	②人材確保・育成等を適正かつ確実に実施する体制は整っているか。
	③財務状況は健全で安全な運営となっているか。
4 企画提案内容	①生徒一人ひとりの状態を把握し、適切に対応できる体制や仕組みづくり等が提案されているか。
	②アセスメントシートや面談の方法等、具体的なアセスメントの手法が提案されているか。
	③一人ひとりの学力に応じた学習支援方法は提案されているか。
	④学習態度の改善が図られる手法等が提案されているか。
	⑤自立に向けた意欲喚起や学習意欲の向上が図られる事業が提案されているか。
	⑥必要最低限の食の提供や食の安全等に配慮された具体的な内容が提案されているか。
	⑦学習支援教室は公共交通機関や徒歩経路等を考慮して、生徒が通室しやすい場所が提案されているか。
	⑧学校等関係機関との連携について提案されているか。
	⑨継続的な事業計画を有しているか。
	⑩事業終了後の支援対象者へのフォローアップは提案されているか。
5 安全対策危機管理	①個人情報保護に関する取組み及び守秘義務に対する取組みは適切か。情報セキュリティに関する組織的な取組、個人情報の管理体制は整っているか。
	②業務におけるミス、トラブルの防止策と発生後の対応、体制が取られているか。
	③日常業務及び食の提供に関して安心・安全への対策と緊急事態発生時の適切な措置は計画されているか。
	④各種帳票、情報端末機等は厳重な管理を行っているか。
6 事業見積価格	・見積りの安価性
7 アピールポイント・提案	・事業実施について、上記内容についてのアピールポイントや提案が記載されているか。